

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		商工会運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	井村 幸弘
	施策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	木部 幹久
	基本事業	36	生産・販売力の強化			所属班	商工振興班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款7	項1	目2	事業連番10308	法令根拠	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑦	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市内中小零細企業の振興と地域経済の活性化を図るため商工会へ補助金を支出する。昭和35年5月商工会法の制定に伴い市町村の取組みが始まった。合志町商工会は昭和36年12月に設立、西合志町商工会は昭和39年7月設立した。平成18年2月27日に合志町と西合志町が合併し合志市となったことを受け、両商工会は合併協議会を設立し、平成20年4月1日に合併し合志市商工会となった。
【業務の流れ】	申請書受付、交付決定、支払、実績報告、商工会総会へ出席(青年部、女性部含む)、商工会事務局との日程及び各種事業の打合せ、商工会の役員研修への参加
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	未加入事業者に対し、さらなる勧誘活動が必要である。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	合志市商工会へ補助金を支出した。総会への出席(青年部、女性部含む) 地域問題懇談会への出席 事務局との日程及び各種事業の打合せ	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 26年度実績を基に27年度も引き続き同様の活動を展開する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) H →ア:申請受付、交付決定、支払い、実績報告の処理時間 イ:	予算の主な増減の理由 全国展開支援事業実施に係る商工会負担分を補助金として支出するため26年度に増額したが、27年度は同事業がないため、25年度同様の金額に減らしている
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市商工会	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) →ア:商工会会員数 社 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	商工会の財政を安定化し、商工会が行なう経営改善普及事業や地域振興事業をスムーズに運営することができるようにする。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) →ア:経営改善普及事業の指導回数 回 イ:地域振興事業の回数 回
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
経営改善普及事業や地域振興事業を展開していくことで会員の経営健全化が図られる。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	H	500	500	500	500	500	500	500	500	
	イ										
②対象指標	ア	社	692	674	700	682	700	700	700	700	
	イ										
③成果指標	ア	回	2,599	2,275	3,200	3,493	3,200	3,200	3,200	3,200	
	イ	回	9	7	7	8	7	7	7	7	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	12,300	12,300	12,677	12,822	12,300	12,300	12,300	12,300
		(A)事業費計	千円	12,300	12,300	12,677	12,822	12,300	12,300	12,300	12,300
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	6,432	5,736	6,374	6,573	6,374	6,374	6,374	6,374
トータルコスト(A)+(B)	千円	18,732	18,036	19,051	19,395	18,674	18,674	18,674	18,674		

事務事業名	商工会運営支援事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 今後とも連携を密に取っていくことで目標達成の見込みである。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 今後とも連携を密に取っていくことで目標達成の見込みである。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 更なる経営改善を目指し、市内中小企業が相談を行えば普及事業の指導回数は増加する。 また、商工会が積極的に地域貢献することにより、地域振興事業の回数は増加する。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 市内中小企業(商工会会員、非会員)へのサービス等の維持のため、現状の事業を継続していく必要があり、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 補助金交付事務の簡素化や担当者のスキルアップを図る。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市内中小企業(商工会会員、非会員)の経営健全化が図られることにより、税収が増加し不特定多数の人に利益をもたらすため公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 補助金支払事務と商工会事業への参加のため役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

補助金支払い事務を円滑に行なったことで、商工会が行なう経営改善普及事業や地域振興事業をスムーズに運営することができたため、市内中小零細企業(商工会会員、非会員)の経営健全化が図られた。
また、商工会主催の各種事業へ参加し商工会と密に連携がとれた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>【有効性改善】 商工会の活動の基本となる会員数を増やすことで、自ずと経営改善普及事業の指導回数も増加し、より地域全体のための活動とすることができる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>会員数が伸び悩んでいるため、会員になるメリットを打ち出していく必要がある。 また、今後は創業を支援することで、新たな会員となる企業を生み出していくことも求められる。</p>																						